

沖縄・新米軍基地

辺野古の海をこわすな!

8/17 土砂投入ストップの声を



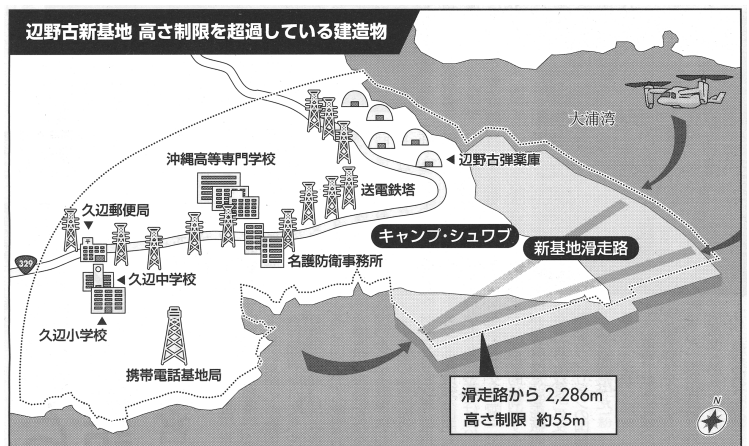
安倍政権がいま、新たな米軍基地を造るために、沖縄県名護市・辺野古の海を埋め立てようとしているのを、ご存知でしょうか。沖縄県民の反対の声を無視して、8月17日には土砂を投入しようとしています。そこは絶滅危惧種262種を含む5800種以上の生物が確認されている豊かな海です。土砂投入はやめての声をあげましょう。

非核平和の流れに逆行

辺野古に計画される新たな米軍基地は、「殴り込み部隊」と呼ばれる海兵隊の出撃基地です。いま、朝鮮半島の非核化と平和の体制づくりの努力が始まっています。ペリー元米国防長官は「北朝鮮の脅威がなくなれば、沖縄の海兵隊の存在理由はなくなる」と述べています。私たちの血税1兆円を注ぎ、基地を造ることにどんな意味があるのでしょうか。

周囲には小中学校や高専が

辺野古の基地には、墜落を繰り返す「空飛ぶ欠陥機」オスプレイやヘリコプターが配備され、100年先まで沖縄県民に被害をもたらします。また、米国の基準では滑走路周辺に高さ55.7m以上の建物があってはなりません。辺野古の基地建設予定地には小中学校や高専など多数の建物がこの高さを超えており、墜落や衝突の危険にさらされます。さらに、建設予定地には超軟弱地盤や活断層があることがわかりました。計画の見直しは必至ですが、変更には知事の許可が必要です。基地建設に反対する沖縄県民の先頭に立つ翁長知事がいる限り、建設推進は不可能なのです。



辺野古の海を壊すな! 新基地建設反対! 戦争でなく平和の準備を!

日本平和委員会

2018年7月発行
一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです
<http://j-peace.org/>
東京都港区芝1-4-9平和会館4階
TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277